

品川用水

品川用水は、品川でかつて農業用水を供給していた用水路で、玉川上水に 33 あった分水のうち最長級であり、その流長は約 30km・7 里半で、明治から大正にかけての市街化にともない工業・排水路となり、昭和 20 年代後半に埋め立てられ(暗渠化)消滅しました。

フォトグラファー渡辺茂樹さんの「品川用水の面影」の中に【[百反通り・大崎駅付近](#)】があります。解説と現在の写真で、【[古戸越川\(ことごえがわ\)](#)】 【[百反通り 大崎駅付近](#)】 【[大井・原の水神池からの流れ](#)】内をそれぞれ[クリック・タップ](#)してください。「後地から百反通りに水車もあつたと言われる[用水路](#)が流れていたとは！！」